

「どんな絵が好きですか？」

このような質問をたまに受けます。仕事の上では好き嫌いなく、あらゆる美術に接していますが、個人的な好みも当然ながらあります。

興味を持っているのは、明治期の美術です。西洋美術が導入され、「和魂洋才」を实践すべく邁進していた時期の作品には、何かおっかなびっくり描いているようなところもあり、技術的には、今の高校生くらいのレベルでしょう。けれども、新しいものへ挑戦する気構えの強さが感じられます。鬼気迫るといって過言ではありません。そのエネルギーが私を引きつけます。

また、水彩画を観ることも好きです。ヨーロッパでは、水彩画はデッサンに分類され、油絵より低くみられがちですが、古くから墨や顔彩に馴染んできた日本人には油絵よりも親しみやすいと思います。つまり、日本人は水彩画をひとつの確立した芸術として昔から認めてきた歴史があるのです。

イギリスは水彩画が盛んで、観るべき作品がたくさんあります。イギリスもまた水彩画をひとつの確立した芸術として早くから認めてきた国です。

ただ、水彩画は光線の影響で色褪せしてしまうため（展覧会場で水彩画のところだけ照明が暗いのはそのためです）、保存が難しく、巨匠の作品を観る機会はそう多くありません。私たちは子どものころから水彩画に親しんでいるのに不思議な気がします。

水墨画も好きです。水墨画をちゃんと味わうには仏教の知識や中国思想の素養が必要ですが、私にそれらはありません。それでも楽しめるのは、水彩画の延長で水墨画を観ているからでしょう。実際、セザンヌの水彩スケッチには、色の着いた水墨画のようなものもあります。

冒頭、仕事の上では個人の好みを排していると言いましたが、いつかここに記した「好み」を反映させた企画展を開いてみたいとも密かに思っています。

石神の丘美術館通信《いしび》

いしび

2012. 11 Vol.119

平成 24 年 11 月発行
発行・岩手町立石神の丘美術館
岩手県岩手郡岩手町五日市
10-121-21 〒028-4307
TEL 0195-62-1453
FAX 0195-62-1477
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>
2012年はリニューアル10周年
2013年は開館20周年を迎えます

石神の丘美術館リニューアル10周年記念

石神の丘 展覧会十年記

— 博物編 —

会期／二〇一二年十一月二十三日(金・祝)～十二月十六日(日)
開館時間／午前九時～午後五時 休館日／十二月三日(月)、十日(月)

観覧無料

特集展示

「愛宕組御神鏡奉納百年展」

(資料提供・調査／愛宕組)



大正二年 愛宕組御神鏡奉納

ホール展示

「岩手の生活を支えた

茅葺の民家に魅せられて」

写真・瀬川幸子／模型・佐藤由雄



岩手町南山形 撮影 瀬川幸子

曲り屋模型 制作 佐藤由雄

11～12月 展覧会のご案内

第51回 岩手町芸術祭 <展示部門>

観覧無料

会期:2012年11月10日(土)～18日(日) 会期中無休
時間:9:00～17:00(18日は15:00まで)
[主催] 岩手町教育委員会・岩手町芸術文化協会・岩手町学校教育研究会

石神の丘美術館リニューアル十周年記念

石神の丘 展覧会十年記 — 博物編 —

観覧無料

今展では、石神の丘美術館リニューアル十周年記念の第2段として、これまでに開催した博物的内容の展覧会をポスターや写真で振り返るとともに、「愛宕組御神鏡奉納百年展」、「岩手の生活を支えた 茅葺の民家に魅せられて」と2つの特集展示をくわえ、3部形式で改めて岩手町の風土や暮らしを見つめます。

会期:2012年11月23日(金・祝)～12月16日(日)
※11月23日は11:00より開場式を行い、12:00より一般公開します
時間:9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日:12月3日(月)、10日(月)

◆特集展示「愛宕組御神鏡奉納百年展」



昭和4年 四ツ車大八 め組の喧嘩

愛宕組が所蔵する歴代の山車写真の1枚が百年前のものであることがわかりました。山車のでっぺんには御神鏡が載せられており、この御神鏡は沼宮内稲荷神社に奉納され、現在も本殿に鎮座しています。山車奉納百年の節目にあたり、御神鏡はじめ愛宕組の歴代の山車写真などを展示し、この百年を振り返ります。

◆ホール展示「岩手の生活を支えた 茅葺の民家に魅せられて」

盛岡市在住のアマチュアカメラマン瀬川幸子さんは、幼いころ暮らした茅葺の家を懐かしみ、県内に残る茅葺屋根の家を撮り続けてきました。今展では、県内各地の茅葺屋根の家の写真を紹介するとともに、岩手町内で撮影した茅葺の家も紹介します。あわせて岩手町の佐藤由雄さんが制作した茅葺の家の模型作品も紹介します。



花巻市東和町田瀬 撮影・瀬川幸子



企画展「石神の丘 展覧会十年記」関連イベント

津軽三味線LIVE

三味線・唄 / 松田隆行

(津軽三味線全国大会3連覇)

太鼓・唄 / 赤平ちさ子

(第50代青森県民謡王座)

手踊り / 太田伸廣

(津軽手踊太田流総師範)

入場無料

*当日午前11時より美術館受付にて整理券(着席用50枚)を配布します / 整理券をお持ちでない方は立見となります
*混雑状況によっては入場を制限させていただきます場合がございます

2012年 12/9 (日)

午後2時開演 (1時間30分程度)
会場 / 石神の丘美術館ホール

美術館隣接 道の駅/レストラン「石神の丘」情報

道の駅「石神の丘」 TEL0195-61-1600 / レストラン石神の丘 TEL0195-61-1602

11月から3月の 営業時間のご案内

道の駅各施設の11月～3月の営業時間は下記のとおりです
(年末年始休業)

- *産直・物産コーナー*
9:00～18:00
- *レストラン石神の丘*
10:30～18:00
- *パワー工房(売店)*
9:00～16:00

※道路情報休憩施設は、365日24時間ご利用いただけます

季節のコース



¥3,500(税込)

食前酒 or ソフトドリンク*やまと豚のテリーヌ～サルサソース添え*海老と蟹のビスクスープ*白身魚のパプール～アンチョビ風味の香草ソース*岩手めんこい黒牛のラグー～フランポワーズ風味トリッパ添え*季節のサラダ*パン or ライス*さつま芋のタルト オレンジ風味～リンゴの赤ワインコンポートとソルトアイスクリーム添え*コーヒー or 紅茶各種

※季節のコース料理は予約制です